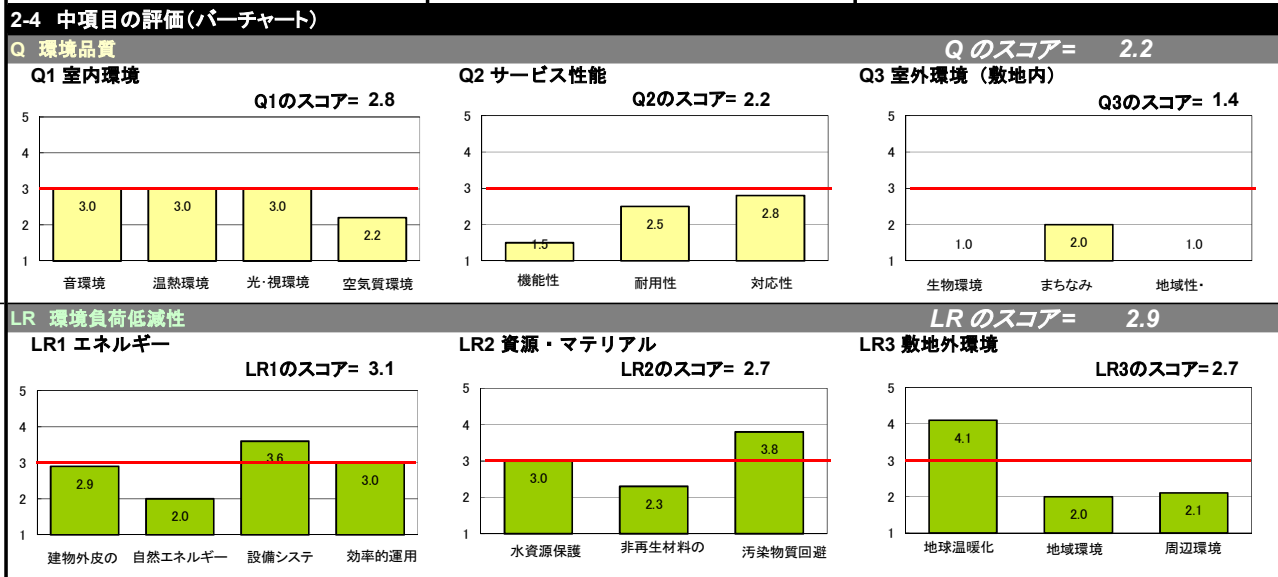
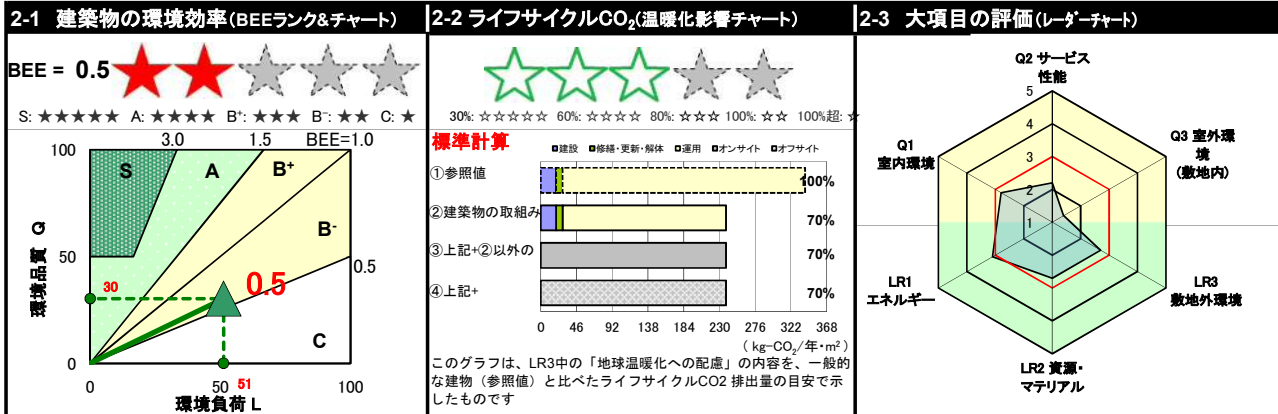




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)本郷通9丁目マンション	階数	地上14階
建設地	札幌市白石区本郷通9丁目北15-1	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	149 人
建物用途	物販店 集合住宅	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2018年7月 竣工	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	846 m ²	評価の実施日	2018年7月7日
建築面積	306 m ²	作成者	
延床面積	3,836 m ²	確認日	2018年7月7日
		確認者	



3 設計上の配慮事項			
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺建物、環境との調和に配慮した。 	<p>A 省エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二重サッシ、断熱の強化による熱損失の低減 	<p>B 省資源等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁は磁器タイル、共用エントランスは、天然石貼など耐久性の高い材料を使用。 	<p>C 緑化</p>
	<p>D 雪処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場をロードヒーティングし排雪作業負荷の軽減に努めている。 		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.3)
 (仮称)本郷通9丁目マンション

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

スコアシート		実施設計段階		建物全体-共用部分		住居-宿泊部分		全体
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 外皮性能 省エネ								
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備 省エネ								
3.2 グレア対策								
1 昼光制御 省エネ								
2 映り込み対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								

Q2 サービス性能			—	0.30	-	-	2.2
1 機能性			2.1	0.40	1.4	1.00	1.5
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	1.0	0.60	
1	広さ・収納性			-		-	
2	高度情報通信設備対応			-	1.0	1.00	
3	バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40	
1	広さ感・景観 (天井高)		1.0	0.02	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース		2.0	0.02		-	
3	内装計画		1.0	0.97	1.0	0.50	
1.3 維持管理			2.0	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計		2.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性			2.5	0.30		-	2.5
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.6	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	2.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	2.0	0.20		-	
2.4 信頼性			1.4	0.20		-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20		-	
3	電気設備		1.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			2.5	0.30	2.9	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			1.0	0.01	2.8	0.50	
1	階高のゆとり	階高 2.96m	1.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		1.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.01	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.6	0.97		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.4
1 生物環境の保全と創出			緑化	1.0	0.30		1.0
2 まちなみ・景観への配慮			緑化	2.0	0.40		2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				1.0	0.30		1.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	1.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	1.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネ	2.9	0.20		2.9
2 自然エネルギー利用			省エネ	2.0	0.10		2.0
3 設備システムの高効率化			省エネ	[BEI][BEIm] = 0.93	3.6	0.50	3.6
4 効率的運用				3.0	0.20		3.0
集合住宅以外の評価				3.0	0.05		
4.1	モニタリング	省エネ	3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				3.0	0.95		
4.1	モニタリング	省エネ	3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護				3.0	0.20		3.0
1.1 節水				3.0	0.40		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.3	0.60		2.3
2.1 材料使用量の削減			省資源	3.0	0.13		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			省資源	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			省資源	3.0	0.25		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			省資源	1.0	0.25		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			省資源	2.0	0.13		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			省資源	3.0	0.25		

3 汚染物質含有材料の使用回避				3.8	0.20		-	3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用		全ての建材種別で有害物質を含まない材料を使用	5.0	0.30		-	
3.2	フロン・ハロンの回避			3.3	0.70		-	
1	消火剤	省資源	マニュアルで示されたランク内容	4.0	0.33		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源		3.0	0.33		-	
3	冷媒	省資源		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.7
1	地球温暖化への配慮	省資源	評価シートによる自動算出を行った。	4.1	0.33		-	4.1
2	地域環境への配慮			2.0	0.33		-	2.0
2.1	大気汚染防止	省資源		3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善	省資源 悪化 雪処理		2.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			1.3	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源		1.0	0.33		-	
2	汚水処理負荷抑制			-	-		-	
3	交通負荷抑制			2.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理		1.0	0.33		-	
3	周辺環境への配慮			2.1	0.33		-	2.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音			3.0	0.33		-	
2	振動			3.0	0.33		-	
3	悪臭			3.0	0.33		-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40		-	
1	風害の抑制			1.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制				-		-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制			1.6	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	0.5	BEEランク	B ⁻
建物名称	(仮称)本郷通9丁目マンション				
建物用途	物販店,集合住宅,				
延床面積	3,836.0 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★☆☆☆	
	雪処理	★★★★☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア	
A 省エネルギー (最高点 24.2 最低点 7.6)	合計 15.2点 /24.2点
Q1 温熱環境	スコア 0.8 /1.4 LR1 建物外皮の熱負荷抑制
Q1 光・視環境	スコア 1.7 /2.8 LR1 自然エネルギー利用
	LR1 設備システムの高効率化
	LR1 効率的運用
B 省資源等 (最高点 23.8 最低点 7.4)	合計 12.7点 /23.8点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.5 /1.1 LR2 非再生性資源の使用量削減
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.5 /2.3 LR2 汚染物質含有材料の使用回避
	LR3 地球温暖化への配慮
	LR3 地域環境への配慮
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)	合計 4.8点 /15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 0.9 /4.5 LR3 地域環境への配慮
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 2.4 /6.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.5 /2.3
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)	合計 1.0点 /3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 /1.0 LR3 地域環境への配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数